

認知症診断とケアを良くするためのリテラシー教育講座

第3回 「もし認知症と診断されたら」

2021年3月5・6日 資料

認知症リテラシー教育について

第1部 「認知症について正しく理解しよう」

第2部 「認知症を早めに診断してもらうために」

第3部 「もし認知症と診断されたら」

第3部 「もし認知症と診断されたら」

第1章 認知症の進行の過程

第2章 軽度認知障害について

第3章 認知症は予防できますか

第4章 認知症の治療方法について

相原) 第3部では認知症を早めに診断してもらうために、というタイトルで実際に診断された場合、どのような過程を経ていくのかというのと合わせて、初期の認知機能障害について説明をしていきます。

第1章 認知症の進行の過程

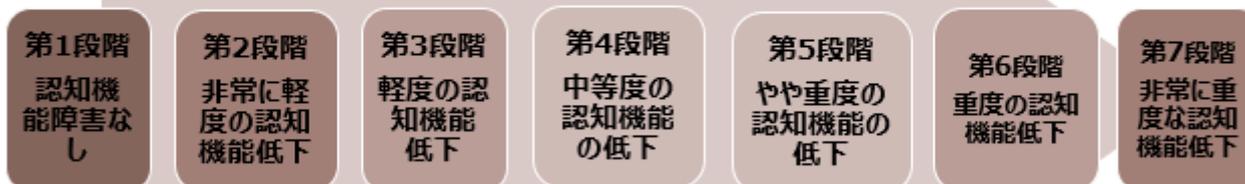
<診断-7> FASTによるアルツハイマー型認知症の重症度のアセスメント

1.正常	
2.年相応	物の置き忘れなど
3.境界状態	熟練を要する仕事の場面では、機能低下が同僚によって認められる。新しい場所に旅行することは困難。
4.軽度のアルツハイマー型認知症	夕食に客を招く段取りをつけたり、家計を管理したり、買物をしたりする程度の仕事でも支障をきたす。
5.中等度のアルツハイマー型認知症	介助なしでは適切な洋服を選んで着ることができない。入浴させるときにもなんとか、なだめすかして説得することが必要なこともある。
6.やや高度のアルツハイマー型認知症	不適切な着衣。入浴に介助を要する。入浴を嫌がる。トイレの水を流せなくなる。失禁。
7.高度のアルツハイマー型認知症	最大約6語に限定された言語機能の低下。理解しうる語彙はただ1つの単語となる。歩行能力の喪失。着座能力の喪失。笑う能力の喪失。昏迷および昏睡。

Reisberg B et al: Functional staging of dementia of the Alzheimer type. Ann NY Acad Sci 1984; 435:481-483

前田) FASTというアルツハイマー型認知症の重症度を評価する評価法です。正常から高度まで7段階に分けられています。認知症は軽度から高度まで4段階に分かれています。

アルツハイマー病の進行の過程



バリー・ライスバーグ博士による考案（日本アルツハイマー協会）

相原) アルツハイマー病を例にとり、軽度から重度という過程を示したのですが、このように進行していくのに時間はどの位かかるのでしょうか。

前田) アルツハイマー型認知症は一般的には全経過が10~15年と言われていますが、個人差が大きいです。若年発症（65歳未満で発症）は経過が早い傾向があります。

第2章 軽度認知障害について

軽度認知障害 (DSM-5、一部改変)

A. 1つ以上の認知領域（複雑性注意、実行機能、学習および記憶、言語、知覚-運動、社会的認知）において、以前の水準から軽度の認知の低下がある

- (1) 本人をよく知る人による、軽度の認知機能の低下があるという懸念、および
- (2) 神経心理学的検査によって記録された認知行為の軽度の障害

B. 毎日の活動において、認知欠損が自立を阻害しない

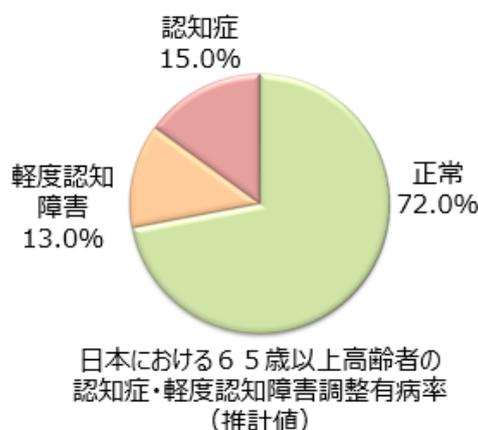
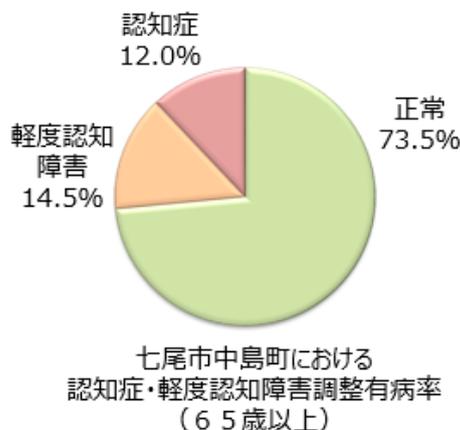
- アルツハイマー病、前頭側頭葉変性症、レビー小体病、血管性疾患、外傷性脳損傷、物質・医薬品の使用、HIV感染症、プリオン病、パーキンソン病、ハンチントン病など
- 行動障害：伴う、伴わない

相原) 根治する治療法がないため、認知症の進行をゆるやかにする、あるいは認知症そのものにならないようにすることが大切になってくると思うのですが、認知症は予防できるのでしょうか

前田) 認知症の経過の中で軽度認知障害 (MCI) という時期があります。この時期は認知症ではないが、認知機能は低下している状態です。ほかのひとの支援がなくとも生活ができています。

認知症、軽度認知障害の有病率

軽度認知障害と認知症を含めて27～28%になる。軽度認知障害は認知症と同じ程度の有病率



厚生労働省研究班「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」推計(2013)

前田) 認知症の有病率は高齢者の10～18%くらいとされています。またMCIの有病率も10～15%くらいです。合わせると高齢者の1/4くらいが含まれます。

第3章 第4章 認知症の予防と治療方法について

軽度認知障害（MCI）の予後

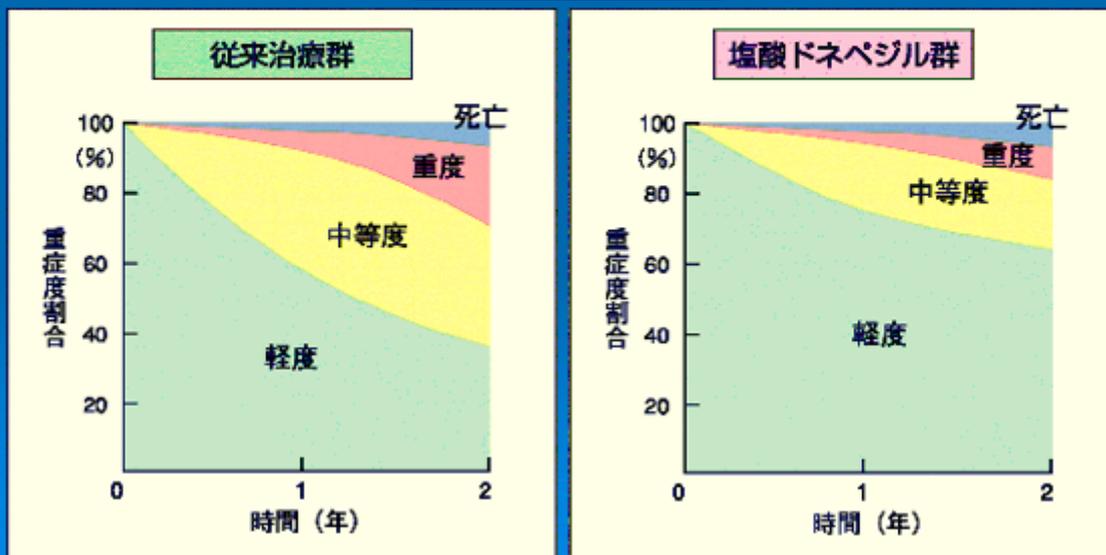
- MCIの予後は多様であり、進行して認知症になる場合、長期間MCIのまままでとどまる場合、および正常に戻る場合がある。
- とくにアルツハイマー病の病態生理(バイオマーカー)を有しないと思われるMCI（SNAP-MCI）はAD-MCIよりも進行が遅い。
- これらには血管性MCIなどの非進行性あるいは緩徐進行性認知症によるMCIが含まれていると考えられている。

相原) 軽度認知障害であっても生活習慣を改善することで進行を予防するということにつながるのが期待できるといえますね。

<治療-12>

軽度のアルツハイマー型認知症患者を対象とした 塩酸ドネペジルによる薬物療法の比較効果

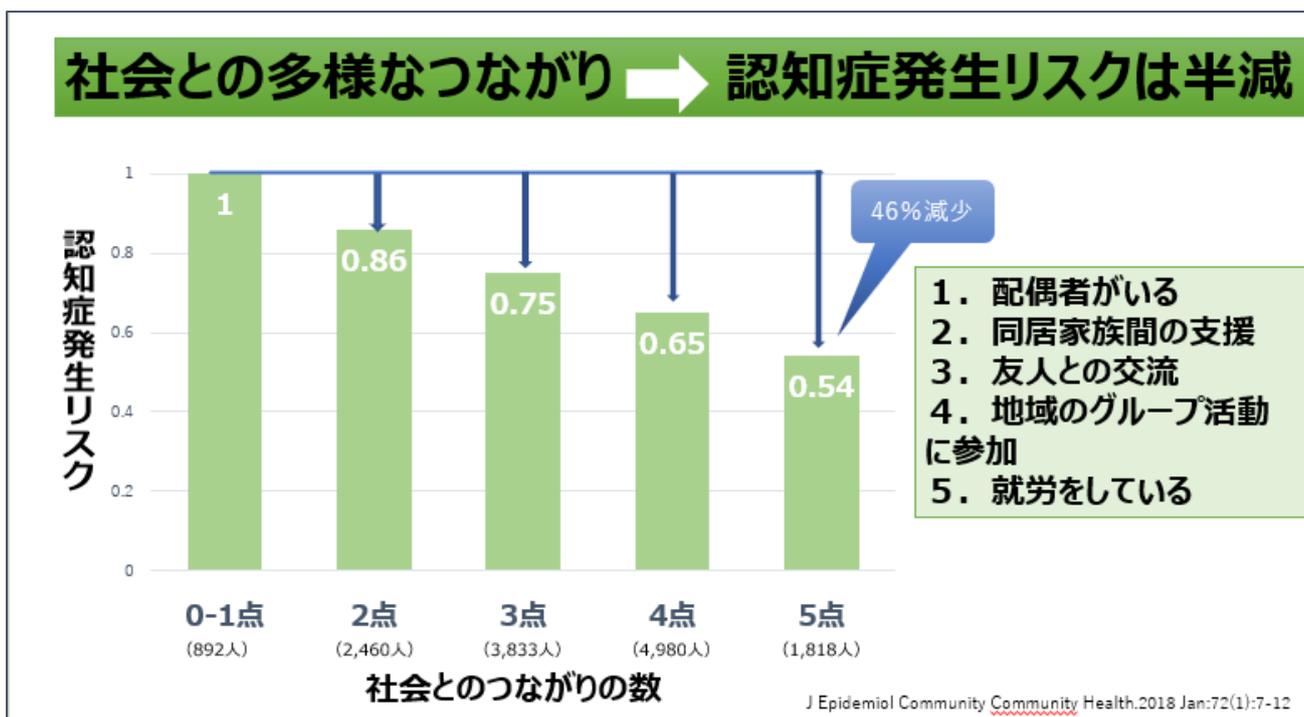
重症度の推移



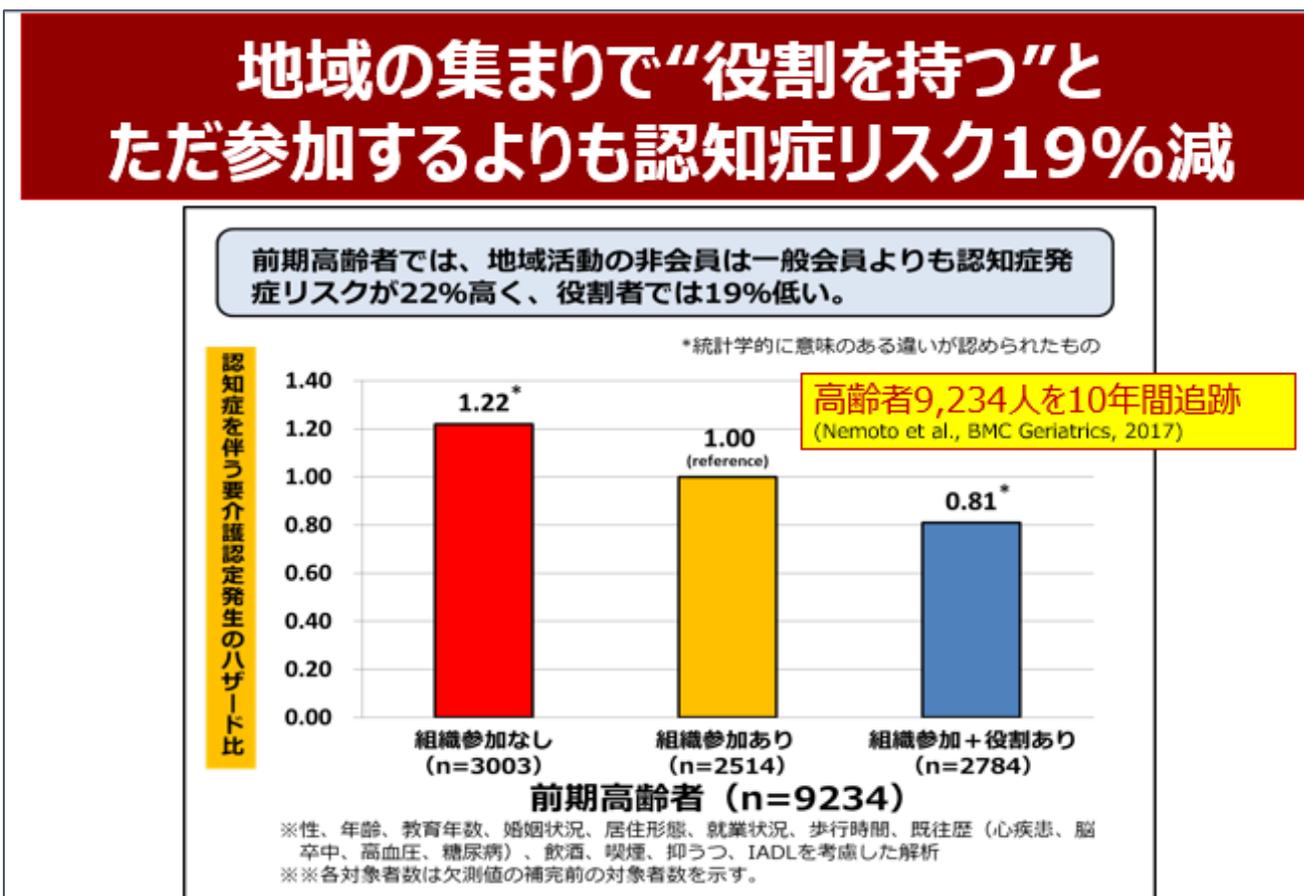
Ikeda S et al: Dement Geriatr Cogn Disord. 2002; 13: 33-9.

相原) 認知症と診断された場合は、どのような治療法があるのでしょうか。

前田) ドネペジルというアルツハイマー型認知症治療薬を2年間服用した時の経過を示したものです。軽度認知症を維持するものが増えて、中等度、重度に進行するものが減少します。



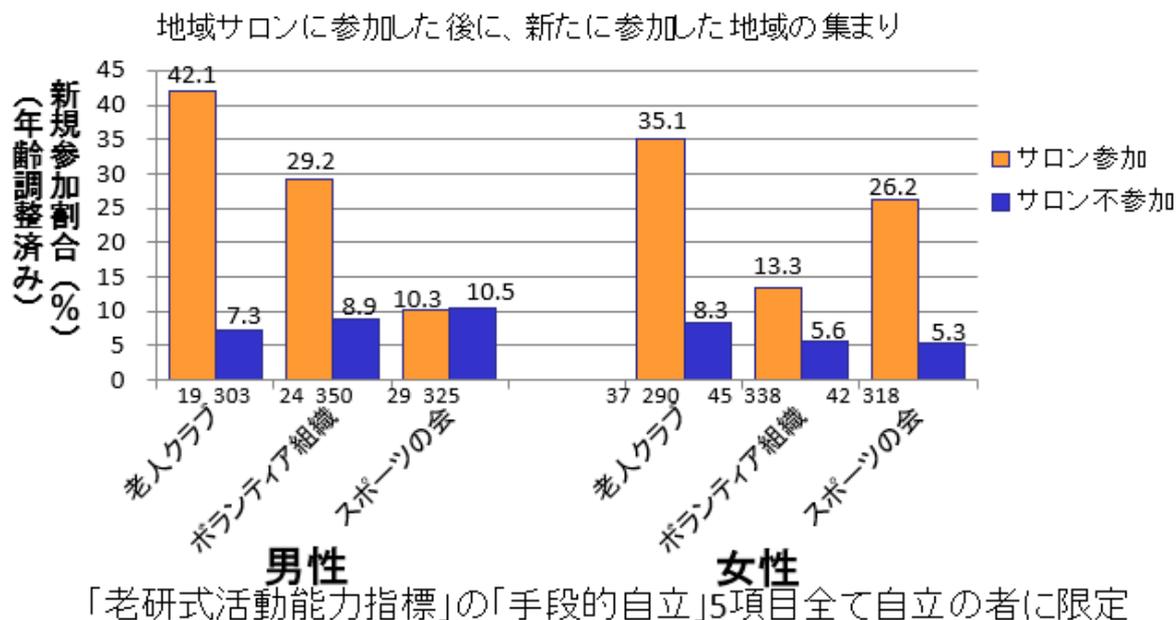
前田) 社会とのつながりを維持することは認知症になるリスクを減少させます。地域での友人との交流や地域活動は重要です。



前田) 地域活動に参加することは認知症リスクを減少させます。さらにこの調査では地域活動に役割を持って参加することは、そうでない場合に比べ、認知症リスクをさらに下げるという結果になっています。

地域のサロン参加することで 別の集まりにも新たに参加する

(平井 2010)



前田) この調査では地域のサロンに参加している人は、他の地域活動にも参加していることが明らかになりました。地域のサロンに参加することで他の地域活動にも参加しやすくなることを示しているものと考えられます。

認知症から逃げ切る

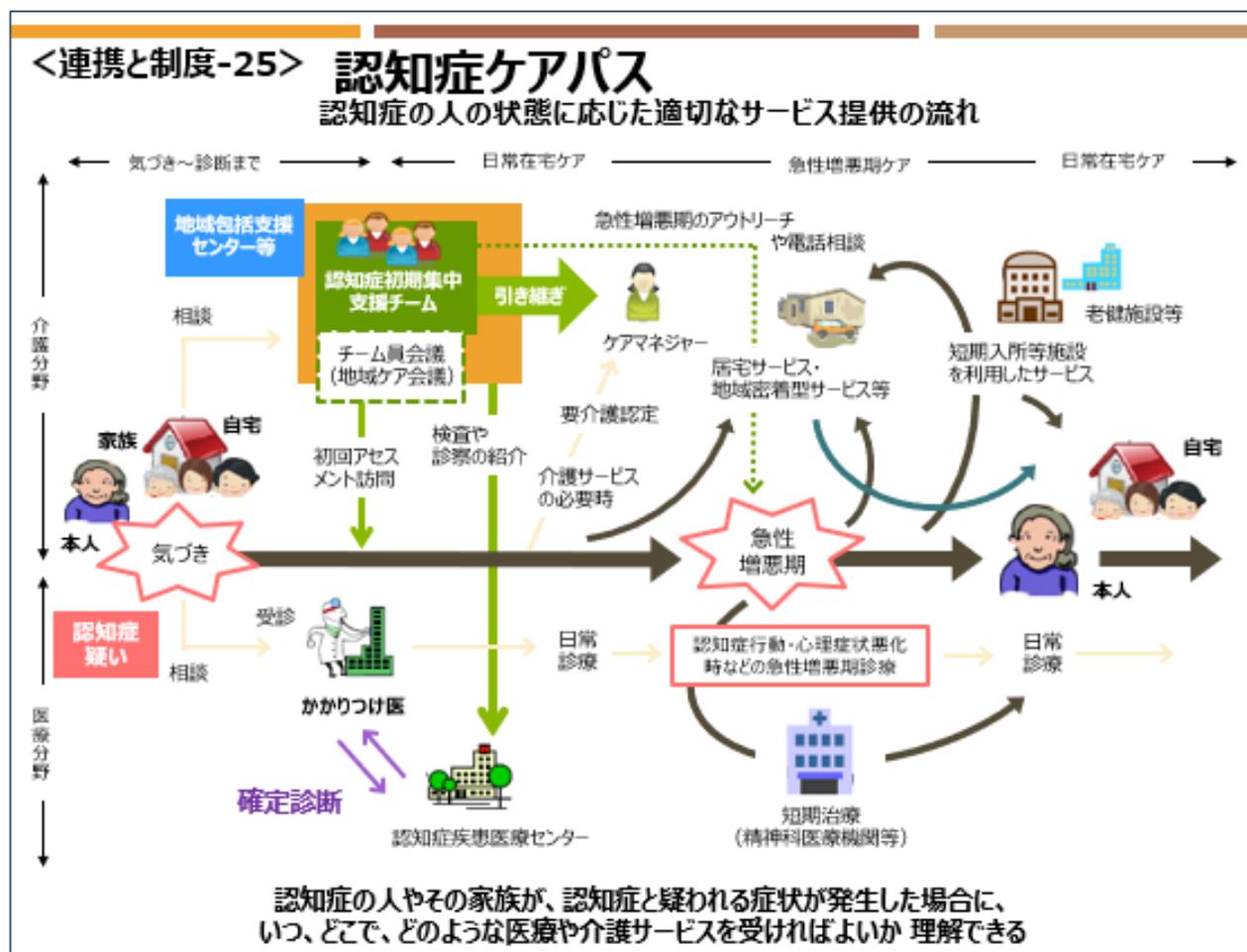
— 最強の認知症予防 —

- ・ 発症の先送り
- ・ ポイントは健忘型軽度認知障害 (MCI)

認知症の

- 一次予防：MCIにならないこと
- 二次予防：MCIから認知症への進行抑制
- 三次予防：認知症の重度化抑制

前田) 認知症では進行を止めるような治療薬が存在しません。多くの認知症は進行します。認知症を進行、重度化させないことが重要と考えられます。そのために有効と考えられるようなことを実施し、重度化することを先送りすることが必要と考えられます。



相原) 薬物により進行を緩やかにできても、完治するわけではないので、家族介護の負担が大きくなるのが現実にあります。介護者の負担を軽減するための取組も必要ですね。

前田) 認知症の経過の中で医療サービス、介護サービスをはじめ込んだものです。「認知症かも」と思ったら、このような様々なサービスを利用して認知症の本人の尊厳が守られるような生活を維持することが重要です。

前田) 一人で抱えこまずに、認知症カフェや認知症サロンに行ってみましょう。友人が見つかるかもしれません。役に立つ情報が入手できるかもしれません。

認知症カフェ・認知症サロン



認知症と診断された場合

認知症事故救済制度 (平成31年4月1日～)

無料で受けられる4つの安心

認知症の方が事故に遭われた場合に適用する制度を解説します。

- 1 補償責任保険** ！保険料は者が負担！

最高2億円の賠償責任保険への加入

認知症と診断後、事故に遭われた方のご家族が負担します。認知症と診断された方（ご家族が認知症を患った場合も含みます）が事故で損害賠償責任を負った場合、最高2億円が支払われます。①自動車事故②火災③器物損壊④その他

受付開始：1月28日～ 適用開始：4月1日～

▶ 詳細はこちら
- 2 24時間365日対応**

24時間365日対応のコールセンターを設置し、事故に付いた賠償金に現金で対応します。

▶ 詳細はこちら
- 3 かけつけサービス** ※一部有料

事故を未然に防ぐため、1泊2日を単位で、認知症のかけつけ（乗車）サービス専用GPS（衛星位置システム）の個人費用を補助します。①月間3回以内の対応をします。

受付開始：1月28日～ 適用開始：4月1日～

▶ 詳細はこちら
- 4 最高3,000万円** ※一部有料

認知症の方が起こした火災や自動車事故の事故に遭われた方に、賠償金（総額）を支払います。

▶ 詳細はこちら

前田) 第2部の最後にも説明した認知症診断助成制度などの神戸市、明石市の取組では認知症の診断を無料で受けることができ、また、認知症と診断された後も支援を受けられる仕組みができています。

神戸市にお住まいの方

みんなで

認知症

あんしんプロジェクト

安心 支える 寄り添う

認知症の診断費用を全額無料に

在宅介護を必要とする要支援・要介護の認定で認知症の場合

1万円支給

さらに**2万円支給**

「認知症かな？」と思ったら早めにご相談ください！

認知症手帳を発行し総合的に支援

（あかしオレンジ手帳）

在宅介護を必要とする要支援・要介護の認定で

3つの無料券をお届け

- ① 宅配弁当券(20回分)
- ② 寄り添い支援サービス券(10回分)
(見守り、話し相手、外出時の付き添いなど)
- ③ 1泊2日のショートステイ利用券

認知症相談ダイヤル

TEL 926-2200 924-9114

平日/午前 8時55分～午後5時40分
(社会福祉協議会内)

＜お問い合わせ＞ 高齢者総合支援室 電話 916-5266 916-5106

明石市にお住まいの方